

ご注意

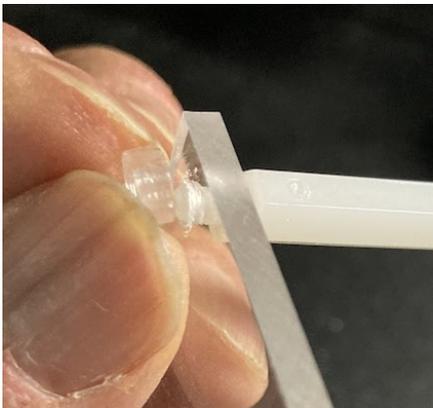
この装置は高電圧を扱うため、取り扱いには注意を払ってください。

- 購入時の誓約書を遵守してください。
- とくに人間や生物を撮影対象とするときは、アース端子からプラグを抜いてください。
- 濡れた手で触らないでください。
- 子供の手の届くところに置かないでください。
- ペースメーカーなど体内に医療器具を埋め込んでいる人を近づけないでください。
- 放電板などに近づいたり、接触し、ダメージを感じる人は近づけないでください。
- 放電板にふれて皮膚が損傷する人は使わないでください。
- 装置は30秒以上、連続して使わないでください。
- 使う場所は、広く絶縁された机の上で操作してください。
- 液体、導電性のものが細々ある場所では思わぬ放電をする可能性があるため避けてください。
- 操作は酩酊、寝不足などミスをしやすいときは避けてください。
- 装置から離れるときは、ACアダプターは抜いてください。

組み立て

透明な台を組み立てます。

アクリル板にナイロンの足をいれ、ナットで止めてください。
材質が柔らかいので工具を使わず、手で締める程度で十分です。



ポリエチレンの足は繋げられるようになっているので、お手持ちのデジカメのマクロ撮影に対応できる高さまであげます。

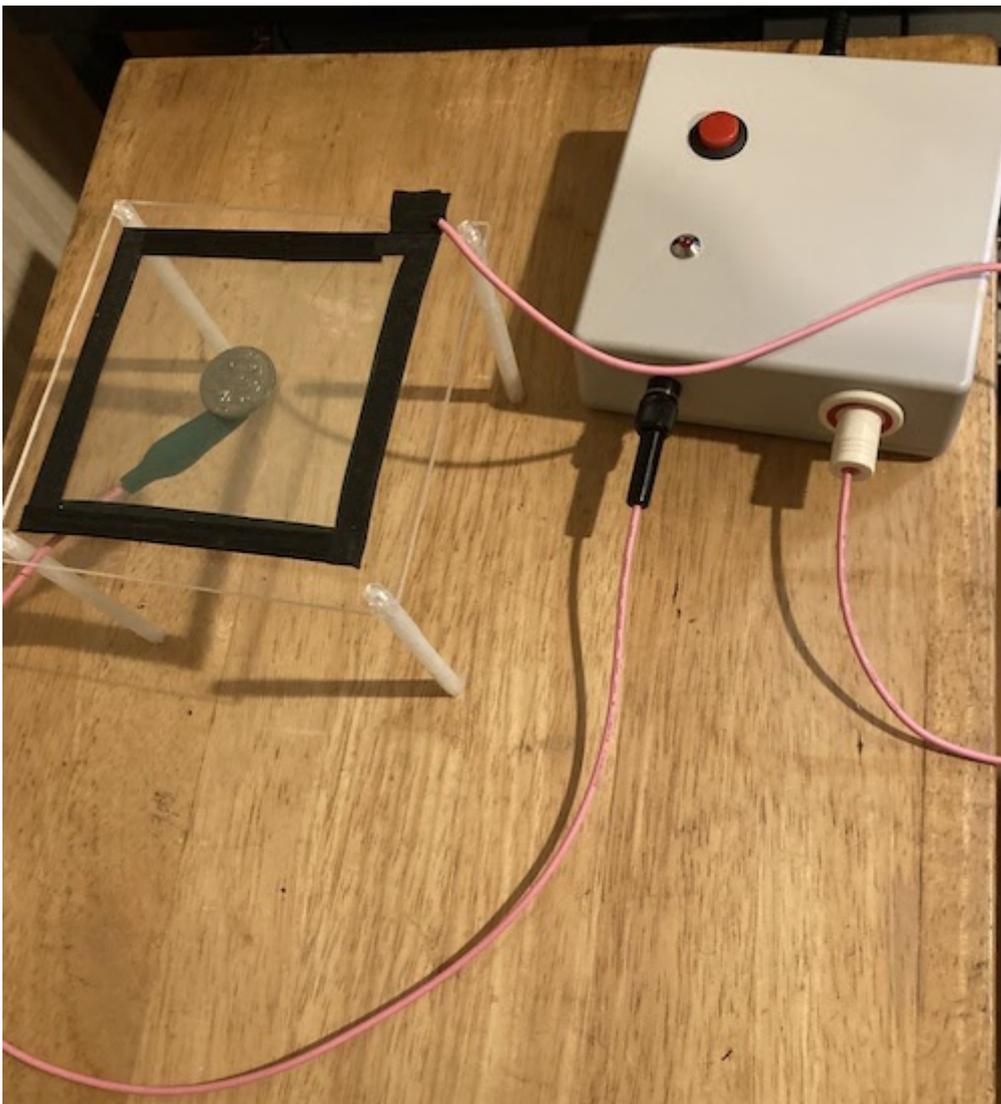


物体の撮影方法

次のようにアクリル板にアース線を取り付けます。



全体の配線は次のようになります。



ガラス板は電気が通る側に銀色のマークがあります。
対象物に接するように置いてください。

スイッチを押した時だけ、通電します。

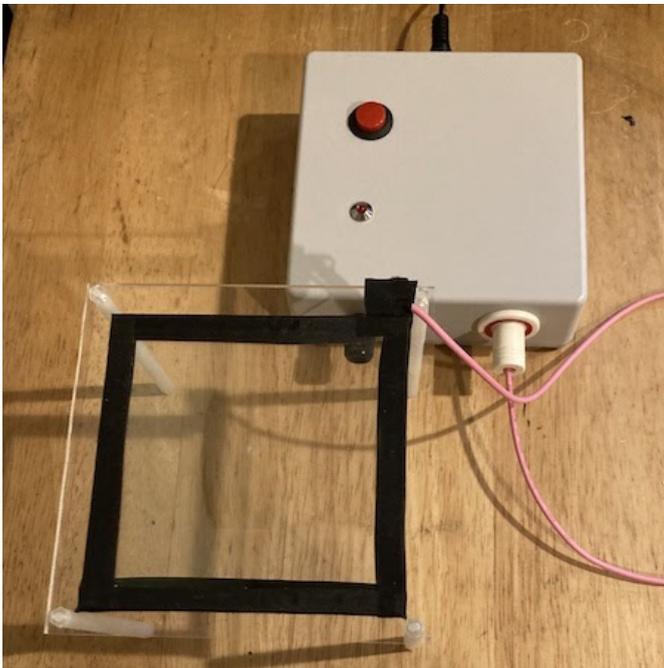
この時、絶対に電極を触らないでください。

部屋を暗くしてボタンを押すと、コインが放電で輝きます。



生体の撮影方法

アクリル板からアースをはずします。ケーブルを本体からも抜いてください。
次のようになります。



スイッチを押してから電極の上に指を乗せるとコロナ放電します。
この時も指と導電側（銀色マークがある側）が接するようにしてください。

上からは見えないのでこのようにカメラを置いて撮影します。



撮影方法はいろいろあると思いますが、成功した一例は、

マニュアルモードでISO6400, F2.0, 1秒、露光1/10秒です。

シャッターがおりるまで2秒のタイマーをセットすると真っ暗な部屋の中ではLEDの点滅に作業が助けられます。